

宮田高原(中央アルプス国立公園)及び聖湖周辺(聖山高原県立公園)のサウンディング型市場調査の結果(概要)を公表します

自然公園の利活用を図り、多くの皆様に自然とのふれあいを楽しんでいただくため、宮田高原と聖湖周辺を対象として、民間事業者の皆様から自然公園の利活用に関する提案を幅広く募集した「サウンディング型市場調査」の結果(概要)を公表します。

1 調査概要

項目	宮田高原 (中央アルプス国立公園)	聖湖周辺 (聖山高原県立公園)
実施要領公表	令和3年9月10日	
事前現地説明会	令和3年10月11日～12日	令和3年10月14日～15日
個別ヒアリング(対話)	令和3年11月8日～12日	令和3年11月15日～19日

2 結果概要

項目	宮田高原 (中央アルプス国立公園)	聖湖周辺 (聖山高原県立公園)
(1) 事前現地説明会参加者	5事業者	4事業者
(2) 個別ヒアリング(対話)参加者	6事業者	4事業者
イ 主なご提案	<ul style="list-style-type: none"> 高原上部にテントサイト設置 ナイトタイム活用(夜景・焚火) 	<ul style="list-style-type: none"> 展望台にカフェ設置 聖湖に水上テント設置
ウ 主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> 通信インフラの充実 給排水設備の改善 	<ul style="list-style-type: none"> リフト運行時間の延長 トイレの改善(洋式化等)

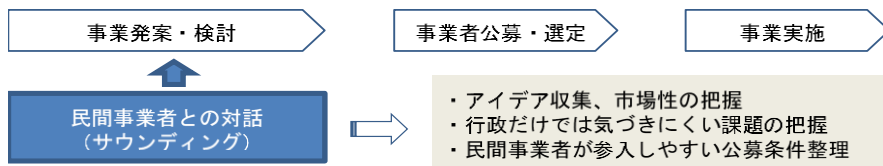
※ 提案等の詳細については、別紙「宮田高原(中央アルプス国立公園)及び聖湖周辺(聖山高原県立公園)におけるサウンディング型市場調査の結果概要について」をご覧ください。

3 今後の進め方

今回頂いたご提案やご意見をもとに、地元市町村や関係団体等と連携して当該公園の利活用を更に検討してまいります。

【参考】サウンディング型市場調査とは…

公共施設等の有効活用に向けた検討に当たって、活用方法や事業内容等について民間事業者から広く意見、提案を求め、対話を通じてアイデアや市場性等を把握する調査



2050 ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマーク

環境部 自然保護課
 (課長)新津 俊二 (担当)松尾 誠
 電話 026-235-7178 (直通)
 026-232-0111 (代表) 内線 2777
 F A X 026-235-7498
 E-mail shizenhogo@pref.nagano.lg.jp

宮田高原（中央アルプス国立公園）及び聖湖周辺（聖山高原県立公園）におけるサウンディング型市場調査の結果概要について

令和4年3月15日

長野県環境部自然保護課

1 調査の背景及び目的

長野県では、自然公園の利活用を図り、多くの皆様に自然とのふれあいを楽しんでいただくため、民間事業者との対話を通じて、利活用に関する様々なアイデアや意見を把握する調査（サウンディング型市場調査）を実施しました。

2 主な提案及び意見

項目	宮田高原 (中央アルプス国立公園)	聖湖周辺 (聖山高原県立公園)
提案概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の皆様を対象としたツアーの実施 ・ 冬季のキャンプ場営業 ・ ドッグラン設置 ・ 高原上部エリアにテントサイト設置 ・ ナイトタイム活用(星空、夜景、焚き火) ・ 好条件テントサイトにサブスク契約導入 ・ 薪風呂レンタルの実施 ・ バーベキュー等デイキャンプ対応充実 ・ 小水力発電導入による財源確保 ・ 貸切バックカントリースキーの実施 ・ マウンテンバイクコース設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山頂エリアに一組限定テントサイト設置 ・ 山頂展望台にカフェ&バー設置 ・ 夜間リフト運行による夜景活用 ・ 聖湖栈橋に接続する水上テント設置 ・ グランピング施設の設置 ・ マウンテンバイクコース設置
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の皆様への魅力発信 ・ 水道、排水設備の改善 ・ Wi-Fi等の通信インフラの充実 ・ 展望台、ログハウス等の施設改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リフト運行時間の延長 ・ トイレの改善（洋式化等）